

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 昆虫等から単離された野生酵母の評価と有用酵母の構築
2. 個人研究者名
清家 泰介（大阪大学大学院情報科学研究科 助教）
3. 事後評価結果

本 ACT-X 研究は、自然界からショウジョウバエを介した酵母ライブラリーを取得するユニークな研究である。日本の各地から集められた酵母から産業に重要な能力（表現型）を見出すためのハイスループットな解析方法を確立した。その結果、これまでにコレクションされていなかった酵母とその表現型情報の揃ったライブラリーを構築するに至った。炭素源資化能やストレス耐性能試験、メタボローム解析などから多くの表現型データを収集しており、今後、これらのライブラリー、情報が、バイオモノ作りに展開され、日本の産業にとって重要になるものと考え。また、本研究者は、基礎生物学的研究として非常に興味深い現象をいくつも発見しており、学術面においても今後の研究の発展が大いに期待される。